

質疑・答弁 抜粋

【質疑】議案提出に至る市長の感慨と決意は。
【答弁】スマートインターチェンジと周辺整備は、本市の起爆剤になるもの確信しており、さらなる企業の集積、観光振興・経済発展に結びつけ、「選ばれる白石市」を創造していく。
【質疑】訴訟がおこされていることをどのように捉えているか。
【答弁】市としては、募集要項に基づき適切に事業者選定手続きを進めてきたものと認識している。
【質疑】優先交渉権者の提案を高く評価した具体的な内容は。
【答弁】(仮称)道の駅しろいし整備運営事業者選定委員会の審査講評にもあるとおり「道の駅を核とした地域活性化への取り組み、道の駅と防災公園の円滑な一体的整備運営に資する取り組みや、本事業を市民とともに育てる取り組みなど、本事業にふさわしい、市の明るい未来を期待させる未来志向の提案である」ことが、委員会で高く評価されたものと認識している。
【質疑】構成員および協力企業の変更について、協議日時、協議者、協議内容は。
【答弁】令和6年8月22日付けで、代表企業である株式会社サンアメニティから、建築建設業務を担当する予定だった構

成員2社について、施工体制が整わなくなったため応募グループ構成を変更したい旨、また、協力企業1社についてグループ内の体制見直しにより脱退する旨の変更協議を書面で受領し協議に応じたものである。
【質疑】最優秀提案者の構成員から2社が抜けた理由は。
【答弁】代表企業である株式会社サンアメニティから、建築建設業務において施工体制が整わなくなったことを理由に協議を受けている。
【質疑】協力企業から、市内唯一の会社が抜けた理由は。
【答弁】グループ内の体制見直しにより脱退したとの協議を受けている。
【質疑】市のホームページで、構成員・協力企業の変更を公表しないのか。
【答弁】議会の承認を得たのち、事業契約の内容について、公表を行う予定である。
【質疑】優先交渉権者の決定について、市民への説明は十分か。
【答弁】これまでの経過を市ホームページで公表している。引き続き、さらに信頼を得られるよう努めていく。



角張 大治 反対討論
(要約)

優先交渉権を得たグループの構成員2社と協力企業1社が脱退、構成企業の変更が生じている。募集要項の「構成企業の変更は原則認めない」に従えば、この変更は容易に認められるべきではないが、市が変更を容認し、今定例会で強引に契約を進めることに疑念を抱く。当事案は訴訟案件としてメディアにも報じられ、契約を強行すれば市政全体の信頼を損なう可能性がある。さらに、プロポーザル制度自体の信頼が損なわれ、公正な競争を妨げる前例を白石市が作ることになりかねないと危惧している。議員には、市民の信頼を裏切らない責任があり、可決すればルール軽視や透明性の欠如という誤ったメッセージを送ることになる。よって、当議案に強く反対するものである。



賛成討論 佐久間 儀郎
(要約)

事業者選定手続きは、PFI手法の手続きについて、数多くの経験がある有識者3名を含む事業者選定委員会を設立し、応募提案受付の一年以上前から本事業の進め方を議論し、丁寧に審議が重ねられ、最優秀提案者の決定に至っている。また、審査講評を見ても、応募提案に対しプレゼンテーション審査を行うなど、丁寧に評価された上で適正に決定したことが明白であり、疑う余地はない。募集要項に基づき適正に措置され、最優秀提案者として選定された企業グループが設立した法人と、仮契約に至ったことが十分に納得できるものであった。よって、関係法令に沿って適正に進められ、本議案が提出されていることから反対する理由は何もなく、賛成するものである。

第469回 市議会定例会 (9月27日) 意見が分かれた議案の賛否一覧

件 名	議員氏名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
			佐藤 龍彦	高子 秀明	伊藤 勝美	澁谷 政義	沼倉 啓介	大森 貴之	佐久間 儀郎	四竈 英夫	小川 正人	角張 大治	大内 卓也	佐久間 順子	村上 由紀	角張 一郎	佐藤 秀行	松野 久郎
議案第73号 (仮称)道の駅しろいし整備事業契約の締結について	原案可決		×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	議

※「○」⇒賛成した議員、「×」⇒反対した議員、「欠」⇒欠席した議員、「議」⇒議長のため表決に加わらない